

# 対話でつなく ほっこり通信

## やまぐちっ子の心を育む道德教育プロジェクト 第2回 公開研修会

10月14日（金）に、「やまぐちっ子の心を育む道德教育プロジェクト」の第2回公開研修会を行いました。今回は、1年1組で末長教諭、2年1組で中村教諭、3年1組で中山教諭が道德科の授業を行いました。どの授業も他校から参観される先生方が大勢おられ、普段の授業とは少し異なる緊張感があったかもしれません。しかし、どの授業においても生徒たちは問いに対して、真剣に考え、自分なりの意見を考え、発表できていました。

### 2年1組 道德科授業「遠足で学んだこと」

今回の道德通信では、10月14日に行われた授業のうち、2年1組で行われた中村先生の授業を紹介したいと思います。今回の授業で取り扱った「遠足で学んだこと」は、遠足の中で決まりを尊重しようと周囲を気遣う生徒と植物の説明という得意な面を發揮して友達に気を遣う生徒の思いがぶつかり、衝突するという話になっています。話の最後に山口県出身の詩人である金子みすゞさんの「みんなちがってみんないい」という有名な言葉がでてきます。この「みんなちがってみんないい」という言葉には、どんな意味が込められているかという問いにまず、個人で考え、その後、グループで自分の意見を伝え合っていました。以下に生徒の感想を載せておきます。

#### 授業の感想

- ・個性を消すのではなく、まずは相手に伝えるようにしたいです。
- ・お互い自分の意見が正しいと思うのではなく、周りの意見もきちんと聞くことが大事だと思いました。
- ・これからは「みんなちがってみんないい」のように相手の立場になってみようとしました。
- ・これからは、自分の意見も友達の見ても大切に、自分の意見も言おうと思いました。
- ・前までは、自分の意見が批判されたらイラっとしていたけれど、これからはイラっとするのではなく、その人の意見を聞いて意見を探れるようになりたいと思いました。
- ・今までは自分の意見とかどうでもいいと思っていましたが、今日の授業で自分の意見も大切にすることがわかり、自分もこれからは積極的に意見を言っていこうと思いました。
- ・意見がうまく合わなくても、それが当たり前でそこからどうするかが大事だということがわかりました。

#### 授業の様子

